

令和元年度 部局長安全衛生パトロール実施される

令和元年9月3日（火）、医科学研究所内 保育園、看護師宿舎、アムジェンホール、白金ホール、近代医科学記念館を対象として、令和元年度部局長安全衛生パトロールが実施されました。このパトロールは、全学の安全衛生意識を向上させ、部局長自らが安全衛生に対する姿勢を示すことを目的として毎年実施されています。

本年度は、山梨裕司 所長、齋藤伸一郎 安全衛生管理室長、古賀道子 産業医および衛生管理者を始めとする関係者7名が、安全管理の現場を巡視しました。山梨所長より「保育園やアムジェンホールの研究室について、一部機器類のケーブルが床にそのまま配線してあり、転倒等の危険性も考えられるのでケーブルカバーで覆うよう今後も指導していただきたいことと、看護師宿舎で避難誘導の標識が非常階段付近にしかなかったので、災害時の避難経路の確認を継続的に行っていただきたい箇所があったがそれ以外は概ね良好でした。安全衛生パトロールは今回が初めてであったが、全体的にみて、防災対策が適切に行われ、良好と思われた。毎月の職場巡視は大変だと思うが、引き続き安全管理にご尽力頂きたい。」との講評を頂きました。

【ひまわり保育園】



【看護師宿舎】



【アムジェンホール】



【白金ホール】



【講評 近代医科学記念館】

